

令和5年3月24日

保護者様

園児を対象にした身体意識及び運動能力検査の結果

上田女子短期大学
大塚美奈子
堤 裕美

年長児の保護者の皆様、ご卒園おめでとうございます。
令和4年度に実施致しました身体意識調査及びMKS運動能力検査の結果をご報告致します。
ご協力頂いたお子様、又ご回答及び本調査へのご理解を賜りました保護者の皆様に改めまして感謝申し上げます。

1. MKS運動能力検査の結果

判定解釈

評定点	評価	評定解釈	理論的出現率
5点	非常に高い	発達が標準より非常に進んでいる	7%
4点	かなり高い	発達が標準よりかなり進んでいる	24%
3点	ふつう	標準的な発達である	38%
2点	少し低い	発達が標準より少し遅れている	24%
1点	かなり低い	発達が標準よりかなり遅れている	7%

各種目には、評定点が付きます。
標準（普通）を3点としています。
上のグラフは年齢ごとの男女実測値平均です。
下のグラフは評定点ごとの全体に占める割合を示します。

○どの種目も、学年があがるにつれて男女とも記録が向上していました（各種目上図参照）。

○MKS運動能力テストは、全国平均値ではなく、年齢ごと（月齢で前半と後半を分けた6つの年齢区分）の判定基準表と照らし合わせて結果を確認します（各種目下図参照）。5ページ（男児）、6ページ（女児）の判定基準表をもとに年齢区分ごとの評定点と各測定項目の値をご確認ください。
※測定を実施した9月時点での年齢区分になります。

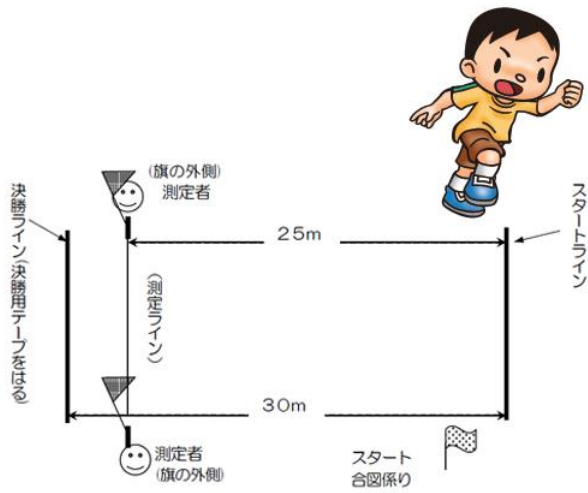
棒グラフの頂点を繋ぐ山の形が左側に歪んでいた項目は「25m走」と「体支持持続時間」で、こちらの2項目は全国標準と比較して低い評定点により多くの園児が該当したことになります。

一方で、「テニスボール投げ」と「捕球」の2項目は、中央に山の頂点があり左右の傾斜も等しいことから全国標準並みの結果であると言えます。

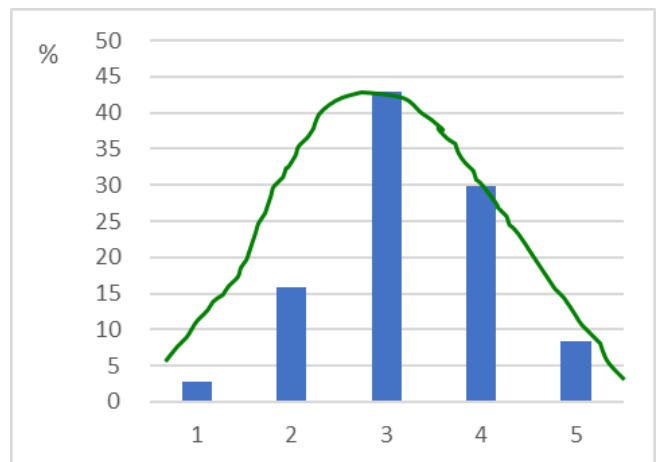
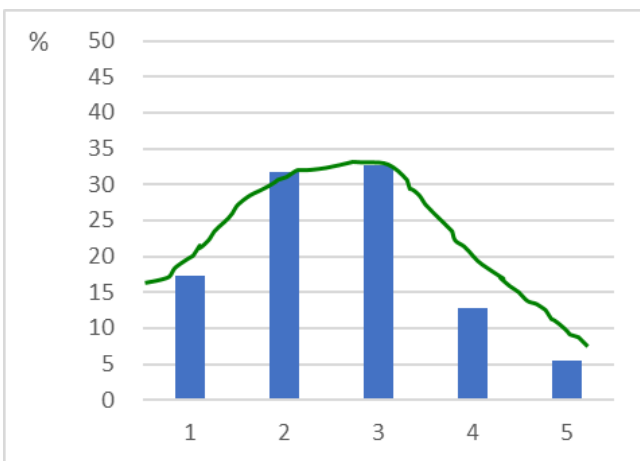
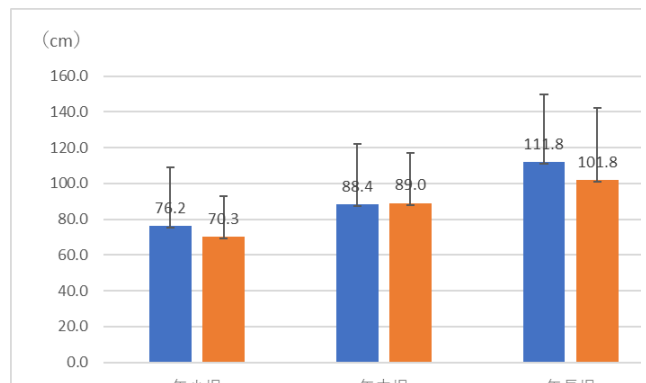
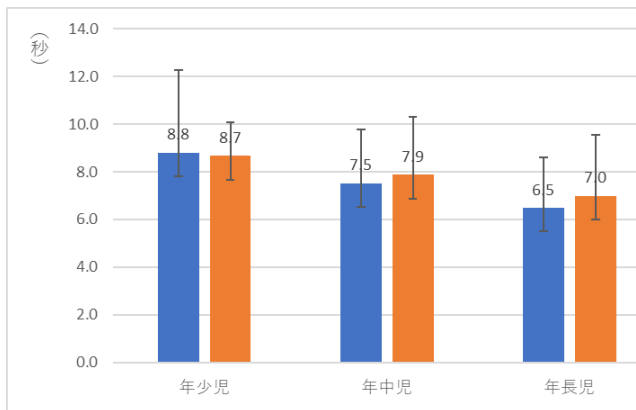
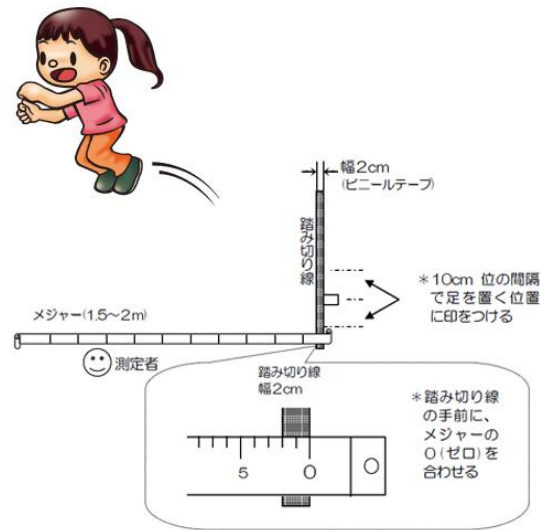
「立ち幅跳び」と「両足連続跳び越し」の2項目では反対に右側に歪んでいるため、全国標準よりも結果が良かったと言えます。

ただし、幼児期の測定は、動作発達の差異や、測定への理解の差など様々な要因を含んでおり、結果の数値だけでは捉えきれない育ちの様相があります。

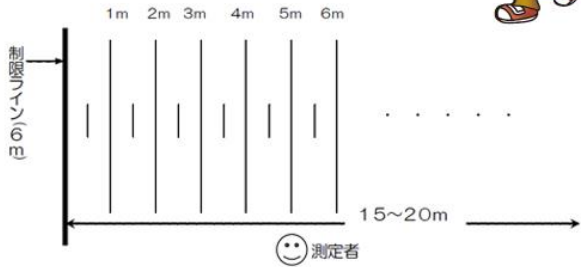
① 25m 走



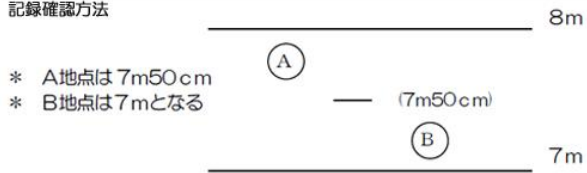
② 立ち幅跳び



③ テニスボール投げ

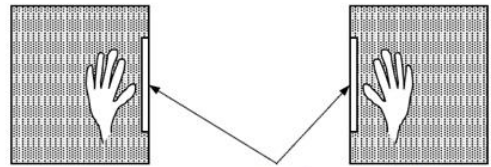
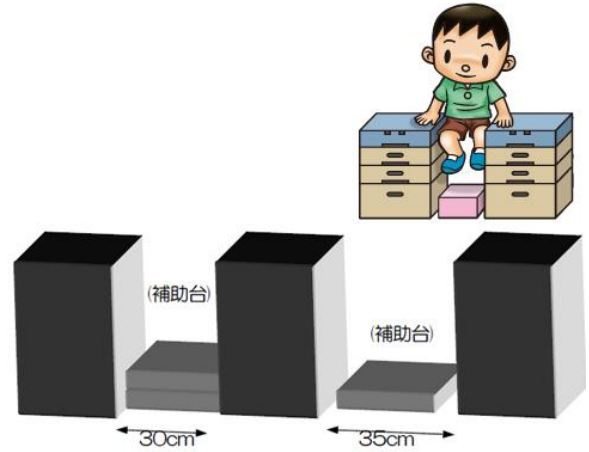


記録確認方法

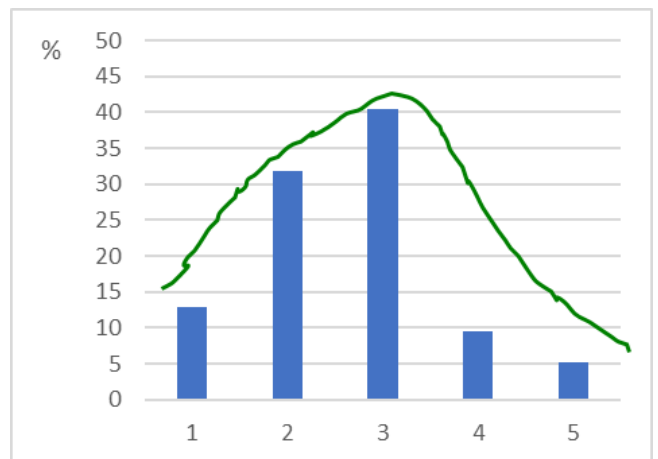
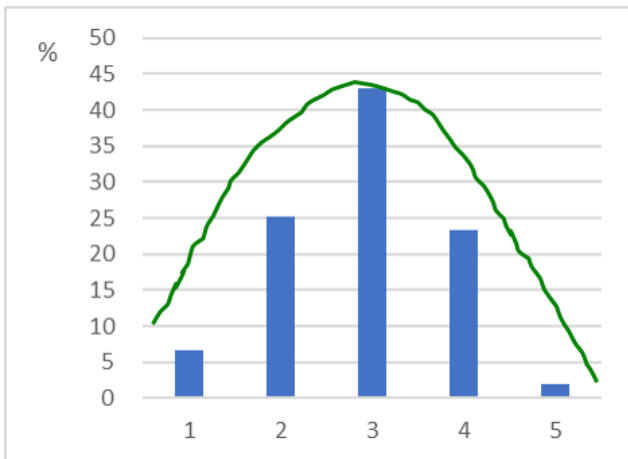
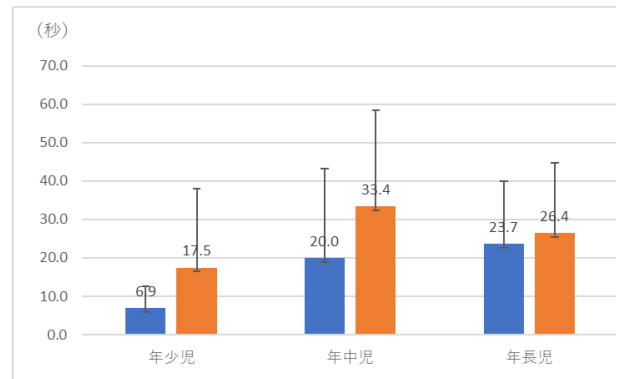
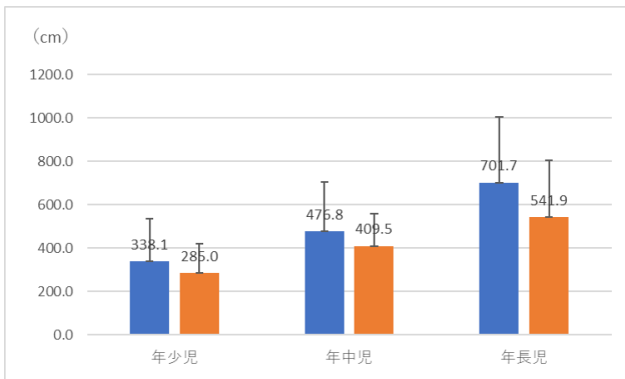


- * A地点は7m50cm
- * B地点は7mとなる

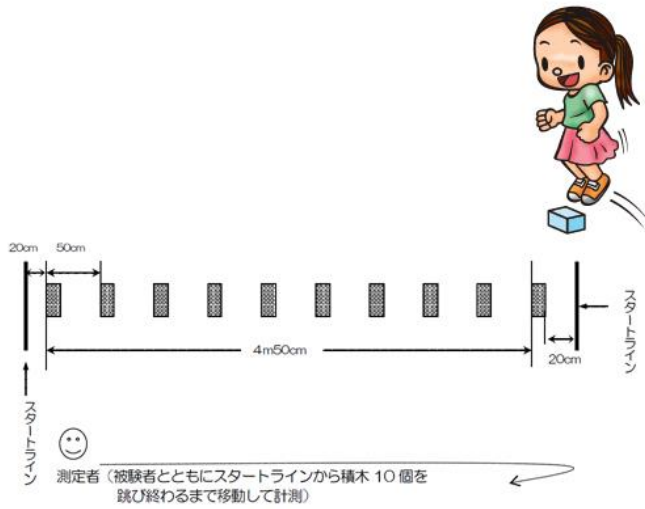
④ 体支持持続時間



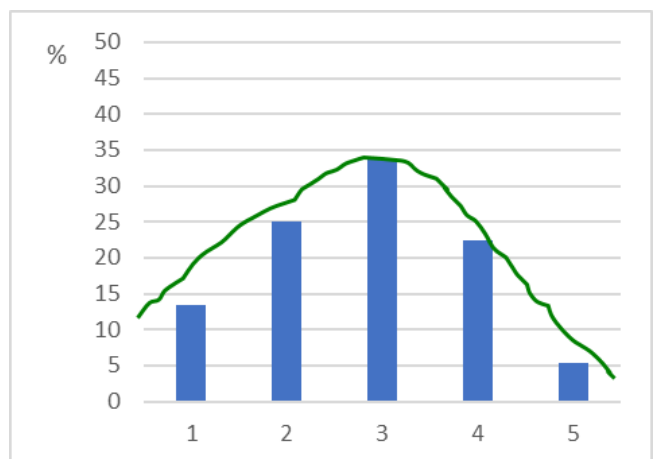
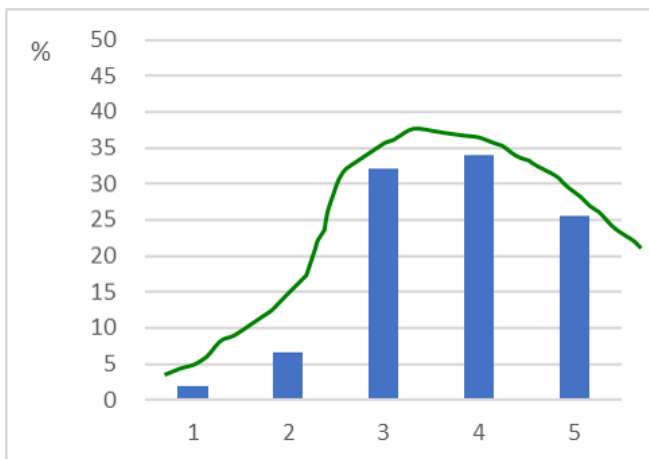
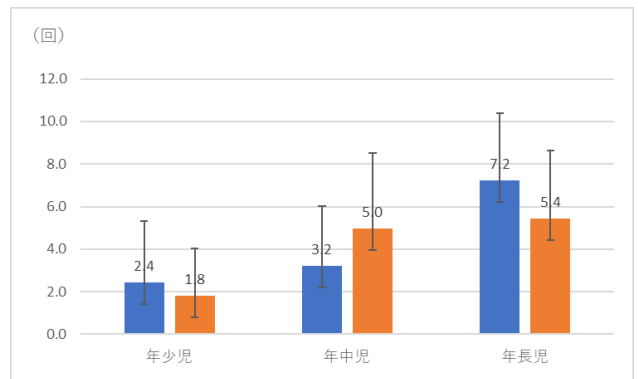
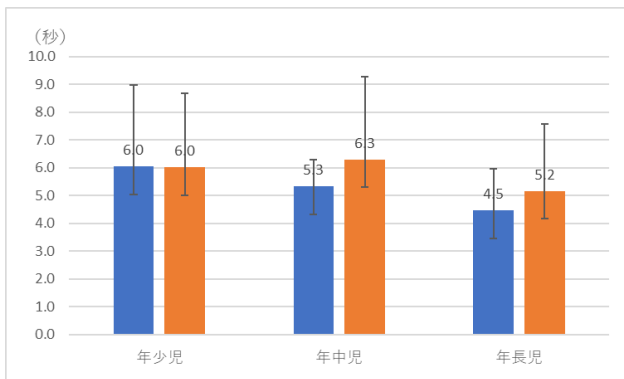
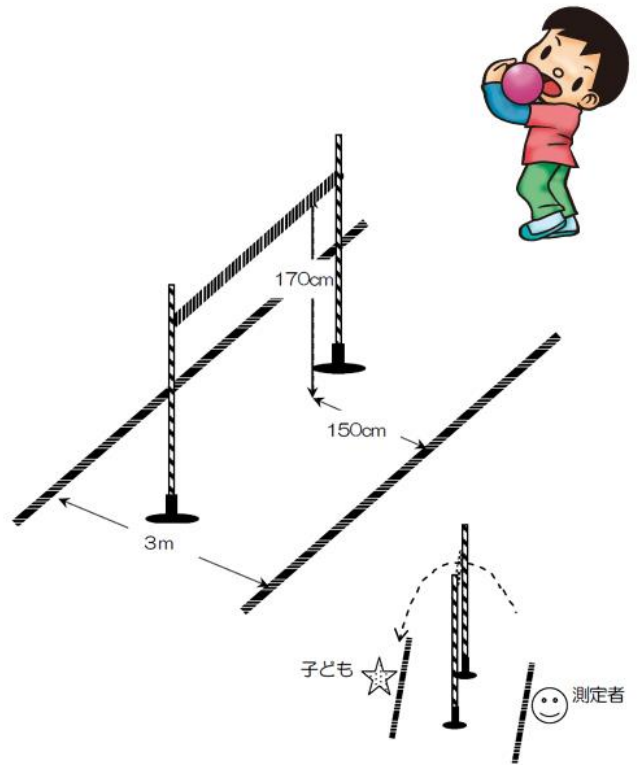
* 1~2mmの幅でテープを貼る。この線を出ないように台の上に手をおく。



⑤両足連続跳び越し



⑥捕球



幼児の運動能力判定基準表(男児, 2008年)

種目	評定点	男児					
		4歳前半	4歳後半	5歳前半	5歳後半	6歳前半	6歳後半
25m走(秒)	5点	~6.7	~6.2	~5.9	~5.6	~5.3	~5.0
	4点	6.8~7.5	6.3~6.8	6.0~6.5	5.7~6.1	5.4~5.8	5.1~5.5
	3点	7.6~8.4	6.9~7.6	6.6~7.1	6.2~6.7	5.9~6.4	5.6~6.0
	2点	8.5~9.8	7.7~8.7	7.2~8.0	6.8~7.5	6.5~7.0	6.1~6.7
	1点	9.9~	8.8~	8.1~	7.6~	7.1~	6.8~
往復走(秒)	5点	~8.5	~8.1	~7.9	~7.5	~7.3	~6.9
	4点	8.6~9.6	8.2~8.9	8.0~8.6	7.6~8.2	7.4~7.7	7.0~7.5
	3点	9.7~10.8	9.0~10.0	8.7~9.6	8.3~8.9	7.8~8.4	7.6~8.1
	2点	10.9~13.1	10.1~11.6	9.7~11.1	9.0~10.1	8.5~9.6	8.2~9.4
	1点	13.2~	11.7~	11.2~	10.2~	9.7~	9.5~
立ち幅跳び(cm)	5点	104~	114~	120~	130~	138~	145~
	4点	89~103	97~113	104~119	113~129	121~137	127~144
	3点	68~88	78~96	85~103	96~112	103~120	109~126
	2点	46~67	58~77	62~84	76~95	85~102	87~108
	1点	0~45	0~57	0~61	0~75	0~84	0~86
ソフトボール投げ(m)	5点	6.0~	7.5~	8.5~	10.0~	11.5~	12.5~
	4点	4.0~5.5	5.0~7.0	6.5~8.0	7.5~9.5	8.5~11.0	9.0~12.0
	3点	2.5~3.5	3.5~4.5	4.5~6.0	5.0~7.0	5.5~8.0	6.5~8.5
	2点	1.5~2.0	2.5~3.0	3.0~4.0	3.0~4.5	3.5~5.0	4.5~6.0
	1点	0~1.0	0~2.0	0~2.5	0~2.5	0~3.0	0~4.0
テニスボール投げ(m)	5点	7.0~	8.5~	10.5~	12.0~	15.0~	16.0~
	4点	5.0~6.5	6.0~8.0	7.5~10.0	8.5~11.5	10.0~14.5	11.0~15.5
	3点	3.5~4.5	4.0~5.5	5.0~7.0	6.0~8.0	7.0~9.5	7.5~10.5
	2点	2.0~3.0	2.5~3.5	3.0~4.5	3.5~5.5	4.5~6.5	5.0~7.0
	1点	0~1.5	0~2.0	0~2.5	0~3.0	0~4.0	0~4.5
両足連続跳び越し(秒)	5点	~5.0	~4.6	~4.4	~4.1	~4.0	~3.7
	4点	5.1~6.3	4.7~5.5	4.5~5.3	4.2~4.9	4.1~4.6	3.8~4.5
	3点	6.4~8.8	5.6~7.0	5.4~6.5	5.0~5.8	4.7~5.4	4.6~5.3
	2点	8.9~13.2	7.1~10.6	6.6~9.6	5.9~8.0	5.5~6.7	5.4~6.6
	1点	13.3~	10.7~	9.7~	8.1~	6.8~	6.7~
体支持持続時間(秒)	5点	48~180	57~180	81~180	98~180	127~180	155~180
	4点	21~47	29~56	39~80	54~97	70~126	81~154
	3点	7~20	12~28	17~38	25~53	33~69	36~80
	2点	2~6	4~11	5~16	9~24	13~32	22~35
	1点	0~1	0~3	0~4	0~8	0~12	0~21
捕球(回)	5点	8~10	9~10	10	-	-	-
	4点	5~7	6~8	8~9	9~10	10	10
	3点	2~4	3~5	4~7	6~8	7~9	8~9
	2点	1	1~2	1~3	2~5	4~6	4~7
	1点	0	0	0	0~1	0~3	0~3

※前半は0-5カ月齢,後半は6-11カ月齢を示す

幼児の運動能力判定基準表(女兒,2008年)

種目	評定点	女兒					
		4歳前半	4歳後半	5歳前半	5歳後半	6歳前半	6歳後半
25m走(秒)	5点	~7.0	~6.4	~6.0	~5.8	~5.5	~5.5
	4点	7.1~7.7	6.5~7.0	6.1~6.7	5.9~6.2	5.6~6.0	5.6~5.9
	3点	7.8~8.8	7.1~7.8	6.8~7.4	6.3~6.9	6.1~6.5	6.0~6.4
	2点	8.9~10.1	7.9~8.9	7.5~8.3	7.0~7.7	6.6~7.3	6.5~7.1
	1点	10.2~	9.0~	8.4~	7.8~	7.4~	7.2~
往復走(秒)	5点	~8.8	~8.3	~8.0	~7.7	~7.5	~7.2
	4点	8.9~9.7	8.4~9.3	8.1~8.8	7.8~8.3	7.6~8.1	7.3~7.9
	3点	9.8~10.8	9.4~10.3	8.9~9.8	8.4~9.1	8.2~8.8	8.0~8.6
	2点	10.9~13.2	10.4~12.0	9.9~11.2	9.2~10.4	8.9~10.0	8.7~9.8
	1点	13.3~	12.1~	11.3~	10.5~	10.1~	9.9~
立ち幅跳び(cm)	5点	97~	104~	112~	120~	126~	130~
	4点	81~96	90~103	96~111	105~119	111~125	115~129
	3点	64~80	72~89	78~95	89~104	95~110	98~114
	2点	45~63	52~71	59~77	70~88	79~94	81~97
	1点	0~44	0~51	0~58	0~69	0~78	0~80
ソフトボール投げ(m)	5点	4.0~	5.0~	5.5~	6.5~	7.5~	8.0~
	4点	3.0~3.5	4.0~4.5	4.5~5.0	5.0~6.0	5.5~7.0	6.0~7.5
	3点	2.0~2.5	2.5~3.5	3.0~4.0	3.5~4.5	4.0~5.0	4.5~5.5
	2点	1.5	2	2.0~2.5	2.5~3.0	3.0~3.5	3.5~4.0
	1点	0~1.0	0~1.5	0~1.5	0~2.0	0~2.5	0~3.0
テニスボール投げ(m)	5点	5.0~	6.0~	6.5~	7.5~	8.5~	9.0~
	4点	3.5~4.5	4.5~5.5	5.0~6.0	6.0~7.0	6.5~8.0	7.0~8.5
	3点	2.5~3.0	3.5~4.0	4.0~4.5	4.5~5.5	5.0~6.0	5.5~6.5
	2点	2	2.0~3.0	2.5~3.5	3.0~4.0	3.5~4.5	4.0~5.0
	1点	0~1.5	0~1.5	0~2.0	0~2.5	0~3.0	0~3.5
両足連続跳び越し(秒)	5点	~5.2	~4.7	~4.5	~4.2	~4.1	~4.0
	4点	5.3~6.3	4.8~5.7	4.6~5.4	4.3~5.0	4.2~4.7	4.1~4.6
	3点	6.4~8.9	5.8~7.2	5.5~6.5	5.1~5.8	4.8~5.6	4.7~5.3
	2点	9.0~12.6	7.3~10.8	6.6~9.5	5.9~7.5	5.7~6.6	5.4~6.3
	1点	12.7~	10.9~	9.6~	7.6~	6.7~	6.4~
体支持持続時間(秒)	5点	46~180	66~180	76~180	105~180	123~180	125~180
	4点	19~45	32~65	39~75	52~104	64~122	70~124
	3点	7~18	14~31	16~38	25~51	30~63	37~69
	2点	2~6	4~13	6~15	9~24	12~29	20~36
	1点	0~1	0~3	0~5	0~8	0~11	0~19
捕球(回)	5点	8~10	9~10	10	10	-	-
	4点	4~7	6~8	7~9	8~9	9~10	10
	3点	1~3	2~5	3~6	5~7	7~8	8~9
	2点	0	0~1	0~2	2~4	3~6	4~7
	1点	-	-	-	0~1	0~2	0~3

※前半は0-5カ月齢,後半は6-11カ月齢を示す

2. 身体意識調査の結果

身体意識とは、幼児期（3～5歳）に急速に発達する運動を円滑に行うための基礎となる能力です。例えば、人混みの中をぶつからないように歩いたり、おぼんを持ってこぼさないように運んだりする時に使う身体の調整力と関わっています。今回は、コロナ禍にあって、身体意識の発達について MEPA-R という運動発達評価を用いて調査しました。結果は以下に示す通りです。

表1 MEPA-R における身体意識のステージ（発達年齢）ごとの到達度（%）

Age	ステージ1到達度 0-6カ月(%)	ステージ2 7-12か月	ステージ3 13-18か月	ステージ4 19-36か月	ステージ5 37-48か月	ステージ6 49-60か月	ステージ7 61-72か月
3	100.0	100.0	99.5	99.5	85.0	83.0	48.0
4	100.0	100.0	99.6	98.5	90.3	92.0	71.0
5	100.0	100.0	100.0	100.0	95.3	96.3	83.9
mean	100.0	100.0	99.7	99.3	90.2	90.4	67.6

5歳児では、調査時期が7月であったことからステージ6（49-60か月）の段階の到達度を見ますと、96.3%でほぼ10割に近い子ども達が身体意識を習得していると考えられます。身体意識の習得には、「体のバランスをとる動き」、「体を移動する動き」、「用具などを操作する動き」など、様々な動きを経験することが効果的とされており、コロナ禍において、一般的に幼児の外遊びが減る傾向にある中で、附属幼稚園の裏山に展開される自然を活かした遊び場での十分な遊び時間の確保や多様な運動経験が身体意識の習得に良い影響をもたらしたことが考えられます。

一方で、「スキップができる」の項目では、5歳児で83.3%と他の項目に比べ到達度が低く、個人差も大きいことが示されています。スキップは、左右の素早いステップの踏みかえを要し、上達には経験を積むことが必要とされています。経験を積むことで小学校の低学年では、ほとんどの子どもが習得していくでしょう。

今回の運動に関する調査結果の報告については以上になります。御協力に心より感謝申し上げます。

コロナ禍において、家庭でスクリーンタイム（動画やゲーム等の画面を観る時間）が増え、運動時間が減ったと言われる昨今ですが、幼児期から低学年にかけての多様な運動経験は発達を促す上でも非常に大事です。今後も皆様のお子様が健やかに育つことを祈念しております。